

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 大日精化工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役理財部門担当

(氏名) 武市 義彦

TEL 03-3662-7111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	104,865	△18.7	4,734	17.7	4,716	48.8	3,146	—
21年3月期第3四半期	128,920	—	4,023	—	3,170	—	△85	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	33.88	—
21年3月期第3四半期	△0.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	150,810	44,271	28.5	463.04
21年3月期	137,755	40,171	28.3	420.20

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 43,001百万円 21年3月期 39,026百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	△13.1	4,700	63.0	4,300	216.0	2,500	—	26.92

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 93,065,554株 21年3月期 93,065,554株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 196,964株 21年3月期 191,262株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 92,870,986株 21年3月期第3四半期 92,885,521株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る過程を前提にしており、実際の業績は様々な要因によりこれらの予想と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加に加え、個人消費や企業の生産において持ち直しの動きが見られましたが、一方では、雇用・所得環境は依然厳しく設備投資も低迷するなど、景気は本格的な回復過程を迎えるまでには至りませんでした。

海外経済におきましては、アジアでは中国は景気刺激策の効果もあり景気は内需を中心に回復しており、米国・欧州では景気対策による下支えもあり景気は緩やかに持ち直しの動きを見せております。

このような状況の中で、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,048億6千5百万円（前年同期比18.7%減）となりました。なお、製品部門別の売上高は、化成品部門142億8千3百万円（同16.0%減）、着色剤部門828億6千6百万円（同18.3%減）、その他の部門77億1千5百万円（同26.7%減）となっております。利益面につきましては、売上高は減収となりましたが、グループ一丸となって固定費を中心とした経費削減に努めたことなどにより営業利益は、47億3千4百万円（同17.7%増）となり、経常利益は営業外損益が改善したことによって、47億1千6百万円（同48.8%増）となりました。四半期純利益は、31億4千6百万円と前第3四半期連結累計期間の8千5百万円の四半期純損失に比べ大幅な増益となりました。これは、前第3四半期連結累計期間において、たな卸資産評価損や工場閉鎖損失並びに投資有価証券評価損などの特別損失を計上したためであります。

なお、事業の種類別セグメント情報につきましては、単一事業のため省略しております。

次に所在地別セグメントの業績についてご報告いたします。

所在地別売上高には、セグメント間の内部売上高及び振替高を含んでおります。

ア. 日本

日本では当社他13社のグループ各社が事業活動を行っております。当地域では車両業界向けや家電業界向けなどの各種機能性着色剤を扱っておりますが、景況の好転が期央以降となりましたため、861億8千2百万円と前年同期比14.7%の減収となりました。営業利益は固定費を中心とした経費削減に鋭意努めました結果、43億4千5百万円と同38.7%の増益となりました。

イ. アジア

アジアでは、DAINICHISEIKA(HK) COLORING CO., LTD.、DAINICHI COLOR(THAILAND), LTD. 他7社のグループ各社が事業活動を行っております。当地域では、OA機器業界・家電業界向けは第1四半期を底に持ち直しの動きが見られましたが、車両業界向けが引き続き低調だったことなどにより、売上高は193億2千1百万円と前年同期比30.0%の減収、営業利益は6億3千7百万円と同45.1%の減益となりました。

ウ. その他

欧州・その他の地域では、DAICOLORCHEM EU, S. A. 他5社のグループ各社が事業活動を行っております。欧州地域におきましては、前連結会計年度後半においてDAICOLORCHEM EU, S. A. の一部工場を閉鎖したことなどによる売上高の減少に伴い、売上高は23億1千4百万円と前年同期比49.1%の減収、営業損益は2億4千8百万円の損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,508億1千万円となり、前連結会計年度末と比べ130億5千5百万円増加致しました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加により、流動資産が131億8千2百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は1,065億3千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ89億5千4百万円増加致しました。これは主として支払手形及び買掛金が107億3千1百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は442億7千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ41億円増加致しました。これは主として当期純利益により株主資本が24億9千4百万円増加し、その他有価証券評価差額金の増加により評価・換算差額等が14億8千万円増加したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、売上高につきましては景気回復の影響により堅調に推移するものと思われませんが、年明け以降原材料価格の上昇が見込まれるなど、企業環境は依然として先行き不透明感が強く、厳しい状況が続くものと予想され、当社グループへの影響が見通し難い状況であり、現段階では、平成21年11月2日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。今後見直しが必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し当第2四半期連結会計期間末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められないため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,836	11,106
受取手形及び売掛金	45,404	34,791
有価証券	113	91
商品及び製品	13,763	14,738
仕掛品	234	232
原材料及び貯蔵品	7,144	8,119
その他	1,717	2,881
貸倒引当金	△205	△136
流動資産合計	85,009	71,826
固定資産		
有形固定資産		
土地	21,792	21,841
その他(純額)	22,416	23,825
有形固定資産合計	44,208	45,667
無形固定資産	925	910
投資その他の資産		
投資有価証券	10,982	9,055
その他	11,550	12,038
貸倒引当金	△1,866	△1,743
投資その他の資産合計	20,666	19,350
固定資産合計	65,800	65,928
資産合計	150,810	137,755
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,506	20,775
短期借入金	29,228	29,452
1年内返済予定の長期借入金	9,958	7,892
未払法人税等	232	259
賞与引当金	1,112	1,624
工場閉鎖損失引当金	340	760
環境対策引当金	308	315
その他	4,467	3,822
流動負債合計	77,155	64,901
固定負債		
長期借入金	16,388	19,382
退職給付引当金	10,118	10,534
役員退職慰労引当金	421	446
環境対策引当金	1,080	1,207
関係会社事業損失引当金	269	—
負ののれん	206	247
その他	897	862
固定負債合計	29,382	32,682
負債合計	106,538	97,584

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	27,358	24,861
自己株式	△84	△82
株主資本合計	46,507	44,012
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	797	△263
繰延ヘッジ損益	△54	△39
為替換算調整勘定	△4,249	△4,683
評価・換算差額等合計	△3,505	△4,986
少数株主持分	1,269	1,144
純資産合計	44,271	40,171
負債純資産合計	150,810	137,755

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	128,920	104,865
売上原価	111,554	88,373
売上総利益	17,366	16,491
販売費及び一般管理費		
給料	4,394	3,794
賞与引当金繰入額	369	335
退職給付費用	523	585
運搬費	2,413	1,924
貸倒引当金繰入額	31	287
その他	5,610	4,829
販売費及び一般管理費合計	13,342	11,757
営業利益	4,023	4,734
営業外収益		
受取利息	43	18
受取配当金	217	161
負ののれん償却額	71	63
持分法による投資利益	59	10
保険配当金	207	168
その他	439	481
営業外収益合計	1,038	903
営業外費用		
支払利息	829	764
為替差損	737	—
その他	324	156
営業外費用合計	1,891	921
経常利益	3,170	4,716
特別利益		
固定資産売却益	120	236
その他	88	65
特別利益合計	209	301
特別損失		
たな卸資産評価損	807	—
投資有価証券評価損	1,553	394
工場閉鎖損失	983	—
事業撤退損	—	367
その他	722	261
特別損失合計	4,067	1,023
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△687	3,994
法人税、住民税及び事業税	554	324
法人税等調整額	△1,164	413
法人税等合計	△609	738
少数株主利益	7	109
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△85	3,146

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

化成品及び着色剤事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	97,977	27,370	3,573	128,920	—	128,920
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,002	239	974	4,215	(4,215)	—
計	100,979	27,609	4,547	133,136	(4,215)	128,920
営業利益 (△損失)	3,133	1,159	△269	4,023	—	4,023

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	83,480	19,201	2,183	104,865	—	104,865
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,701	120	130	2,953	(2,953)	—
計	86,182	19,321	2,314	107,818	(2,953)	104,865
営業利益 (△損失)	4,345	637	△248	4,734	—	4,734

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次の通りであります。
(1) アジア…香港、タイ、中国、フィリピン、インドネシア、ベトナム
(2) その他の地域…米国、スペイン、イタリア他
3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が、日本で76百万円減少しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	32,545	4,805	37,351
II 連結売上高（百万円）	—	—	128,920
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	25.2	3.7	29.0

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	23,737	3,203	26,940
II 連結売上高（百万円）	—	—	104,865
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	22.6	3.1	25.7

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次の通りであります。

- (1) アジア…香港、タイ、中国他
- (2) その他の地域…米国、ヨーロッパ、南米他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。